

積雪時の危険物施設の事故防止について

積雪時には、除雪作業や落雪、または雪の重みにより危険物タンクや配管などが転倒、破損し、危険物が漏えいする事故が発生する恐れがあります。

危険物の事業所では、こまめに雪下ろしを行うなど、施設全体の雪害対策を講じていただき、降雪状況に応じて適切な対応をとるようお願いします。

また、豪雪地帯では、ガソリンスタンドのキャノピー（上屋）が雪の重みにより破損したり、移動タンクの交通事故が発生しています。

以下のポイントに注意し、危険物事故防止に努めましょう。

1. 除雪作業をするときは、タンクや配管を傷つけないよう注意しましょう。
2. 屋根からの落雪でタンクや配管が転倒、破損しないよう安全対策を講じましょう。
3. 屋根からの落雪があった際は、タンクや配管を確認しましょう。
4. 危険物施設周りの通路を除雪し、緊急時に速やかにバルブを閉止できるようにしましょう。
5. 建築物等の屋根や柱は、経年劣化を考慮して亀裂等の有無など点検を行いましょう。
6. 大雪による視界不良のときは、移動タンクの運転を控えましょう。
7. 万が一、危険物の流出事故が発生した場合は、早急に119番通報をお願いします。



危険物 無事故へ挑む ゴング鳴る

令和7年度危険物安全週間推進標語